

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3292 回例会 (令和 2 年 8 月 5 日・水)

今週のプログラム

8月5日(水) ゲストスピーチ

「ガバナーのお話」

国際ロータリー第2690地区
ガバナー 菊池捷男氏

次週のプログラム

8月19日(水) ゲストスピーチ

「生態からみる宍道湖七珍」

宍道湖漁業協同組合
参事 桑原正樹氏

誕生月

後藤 勇会員 18日 中村 寿夫会員 23日

出席100%賞

伊原 正人会員 24年 舟越 隆明会員 11年
福嶋 徹己会員 2年

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
8月 6日(木)	米子中央	ANAクラウンプラザホテル米子 1F
8月 7日(金)	米子	ANAクラウンプラザホテル米子 1F
8月11日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
8月21日(金)	米子	ANAクラウンプラザホテル米子 1F
8月24日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
8月25日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
8月31日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
9月 8日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
9月29日(火)	境 港	Asian Resort Dining 嫺園

※米子RC例会次第変更(2020年7月より)
12時10分~12時40分(来た人から食事)
12時40分~13時30分(例会)

2020年8月の予定

8月5日(水) 定例理事会

菊池捷男ガバナー公式訪問例会(A方式)

※ 8月12日(水) 休会

第3291回例会記録

令和 2 年 7 月 15 日 (水・曇り)

会員数 63名
出席者数 45名
欠席者数 18名
出席率 76.27% (出席免除会員含む)
前々回補正 94.33%

■ビジター 森脇宏ガバナー補佐、
小草牧子ガバナー補佐幹事(松江しんじ湖)

■メーキャップ 井戸内、沖本(松江南)、加來、亀山、立石(松江東)
波多野(松江しんじ湖)、花尻(クラブ協議会)

会務報告

内田会長

- 第3グループ ガバナー補佐 森脇 宏様
// ガバナー補佐幹事 小草牧子様

本日はガバナー補佐クラブ協議会にご出席いただきます。

また、森脇ガバナー補佐にはスピーチもお願いしております。

杉原幹事

- 本日例会終了後、森脇宏ガバナー補佐と小草牧子ガバナー補佐幹事をお迎えしクラブ協議会開催。ご関係の皆様は本館2F梅の間へ移動。
- 8月5日(水) 菊池捷男ガバナー公式訪問例会(クールビズOK)
- 7月22日(水)、29日(水) 休会

委員会報告

- クラブ管理運営 親睦・出席委員会 川内委員長
出席報告

プログラム

「私とロータリー」

国際ロータリー第2690地区

第3グループ ガバナー補佐 森脇 宏氏



ニコニコ箱

26,000 円

第3グループ ガバナー補佐 ^{もりわき ひろし} 森脇 宏様
// ガバナー補佐幹事 小 草 牧 子 様

(本日はお邪魔させていただきます。どうぞ宜しくお願
い致します。)

内田、今井、紀野、櫻井、信太、谷口博、中村、錦織、西村、
原田、堀江 (森脇ガバナー補佐をお迎えして。)

小林祥 (森脇ガバナー補佐のスピーチに。)

大野 (JCの先輩でもあるガバナー補佐 森脇宏様並びに
補佐幹事 小 草 牧 子 様をお迎えして。)

伊原、木村、永通 (森脇ガバナー補佐、小 草 牧 子 様
をお迎えして。)

石飛 (久しぶりに出席します。森脇宏君とは60年近く前、
松江商業の同期生です。35年前、同時期にROTARYに
入会しました。お互い年をとりました。)

亀山 (先週はご清聴ありがとうございました。一日も早
いコロナの収束とみなさんのご健康を祈って・・・)

長野 (入会月)

錦織 (結婚月)

ベストメッセージ賞：該当なし

司会 山本公司会場監督

ひとこと
随 想

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)



かつ べ すずむ 部 晋

少し前から、高血圧症、糖尿病、狭心症、胃潰瘍などの疾患は大体コントロールできるようになって来ている現在、今後われわれが直面するであろう疾患はウイルス性疾患であろうと考えていたが思っていたより早く非常に厄介なウイルス感染症が出現してきた。新型コロナウイルス感染症(感染病名COVID-19)である。

日本感染症学会、日本呼吸器学会、日本集中治療医学会の協力の元に作成された「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き 第2.1版」(6月17日発行)によると病原体はコウモリ由来の新型コロナウイルスと判明した。2019年12月 中華人民共和国湖北省武漢市で肺炎の集団発生が報告され武漢市の封鎖など強力な対策にも関わらずこの感染症は世界に拡大して世界保健機構 (WHO) は2020年1月30日に緊急事態を宣言した。

日本国内では4月下旬から患者数が増加し4月7日には緊急事態宣言が発出された。このウイルスの特徴は80%の人が無症状あるいは風邪のような症状で自然に回復していくが残りの20%の人は重症化するという以前の政府専門家会議の一員の東北大学の押谷 仁教授によると「厄介な感染症」であることである。その80%の症状が軽い人が街を歩き回って感染を広げてしまうので非常に厄介である。

さて現状では非常事態が解除された後感染者が増加してきている。このことについてはある程度予想はしていたし、PCR検査体制が整ってその検査数も増加した事又、心のゆるみと共に行動自体も緩んだ結果だと考えている。問題はこれからである。今新型コロナウイルスの第2波対策が問題になっている。東京都でも連日多数の感染が確認

されている。それに加えて今シーズンはA/香港型 (H3N2) とB型インフルエンザによる1000万人規模の混合感染が想定されている。今季インフルエンザの流行が起きれば、多数のインフルエンザ様疾患患者がクリニック、病院を受診するがその中に一定の割合でCOVID-19患者が含まれると考えられるのでそれを除外するためのPCR検査等が必要になってくる。7月18日に出された菅谷憲夫 (慶應義塾大学客員教授) による指針によると、

- ① インフルエンザ患者の中に数%のCOVID-19患者が含まれる可能性があるのでその検査、PCRか抗原検査を実施することが重要である。
- ② 検査が陽性ならCOVID-19として入院隔離が必要である。
- ③ 検査陰性ならばインフルエンザ迅速診断検査を施行し陽性ならば抗インフルエンザ薬の投与を開始する。
- ④ COVID-19とインフルエンザ同時感染例の頻度は武漢からの報告では50%以上同時感染が認められたとのレポートもある。

最後にこの非常に厄介な感染症に対峙する方法は大体確立しているとの報告もある。岩田健太郎教授 (神戸大学感染症部門) は1. きちんとした手指消毒。2. 長時間の密閉空間の共有の回避をすること (3月4日WEB医事新報)。最近では筆者がよくご指導をお願いしている相良博典教授 (昭和大学病院長、呼吸器・アレルギー内科部門) の7月12日のメールではお互いのマスク着用 (飛沫予防) と手指消毒 (接触予防) を徹底すれば濃厚接触は回避できるとの回答を頂いたので併せて参考にさせていただければと思います。

(呼吸器科医)